

第32回 運動障害研究会プログラム

当番幹事 名古屋市立大学 神経内科 山脇健盛

日時 2006年7月29日(土)
 時間 14:00 ~ 18:00
 場所 大日本住友製薬(株)東京本社 2階会議室
 東京都中央区京橋1丁目12番2号 TEL 03-5159-2540

13:45 ~ 14:00

製品紹介 アムロジンOD錠

大日本住友製薬株式会社 学術担当

SESSION I

14:00 ~ 15:20

座長 慶應義塾大学医学部 神経内科 高橋一司

1. 再発寛解をくり返す脳幹脳炎疑いの43歳男性例
 長田高志, 池田麻莉, 伊東大介, 高橋一司, 鈴木則宏(慶應義塾大学医学部 神経内科)
2. 末梢神経障害を合併した急性散在性脳脊髄炎の1例
 木棚 究, 伊沢 毅, 大塚美恵子, 植木 彰(自治医科大学付属大宮医療センター 神経内科)
3. 出産直後に疼痛を伴う多発単神経炎を発症した1例
 遠藤雅直¹⁾, 瀬川文徳¹⁾, 鈴木瑞枝¹⁾, 西岡昌紀¹⁾, 黒岩義之²⁾
 (¹⁾東芝林間病院 神経内科, ²⁾横浜市立大学 神経内科)
4. 著明な不随意運動を呈したリチウム中毒の1例
 星川恭子, 小栗卓也, 服部 学, 松川則之, 山脇健盛, 小鹿幸生(名古屋市立大学 神経内科)
5. 頭頸部外傷後に両下肢のクローヌス様異常運動を呈し, 末梢神経縮小術を行い軽快した一例
 鮎澤 聡¹⁾, 江口 清²⁾, 青木 司³⁾, 高田智也⁴⁾, 松村 明¹⁾
 (¹⁾筑波大学大学院人間総合科学研究科(脳神経外科), ²⁾同 リハビリテーション部, ³⁾龍ヶ崎済生会病院
 脳神経外科, ⁴⁾筑波大学附属病院 脳神経外科)

SESSION II

15:25 ~ 16:30

座長 順天堂大学大学院 リハビリテーション医学 林 明人

6. 幼児時よりてんかん発作, ミオクローヌス, 過剰驚愕反応を呈した一例
 平山 喬, 林 明人, 町田 裕, 塩月富美, 森 秀生
 (順天堂大学 脳神経内科, 同 大学院 リハビリテーション医学)
7. Isaacs症候群の一例
 井口正寛, 森松暁史, 近藤倫子, 白田明子, 山根清美
 (太田綜合病院付属太田熱海病院 脳神経センター 神経内科)
8. 書字の保続がみられたパーキンソン病の一例
 山崎正禎, 伊藤伸朗, 内藤 寛, 葛原茂樹(三重大学医学部 神経内科)
9. すくみ足に鍼治療が著効したpure akinesiaの1例
 大越教夫¹⁾, 中島優樹²⁾, 藤井亮輔¹⁾, 織田彰子³⁾, 玉岡 晃³⁾
 (¹⁾筑波技術大学 保健科学部, ²⁾筑波技術大学 統合医療センター, ³⁾筑波大学臨床医学系 神経内科)

coffee break

特別講演

17:00 ~ 18:00

座長 名古屋市立大学 神経内科 山脇健盛

特別講演

「ジストニアはストリオゾーム病か？」

梶 龍兒 先生(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 神経情報医学 教授)